

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

事業コード	7	事業名	販路拡大支援事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	4	施策名	地域外に活路を見出す販路拡大支援の充実		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景
人口減少や少子高齢化による地域市場の縮小に対応するため、商談会や物産展等への効果的な出展支援を通じ、地域外に広く活路を見出していくことが求められている。

2. 事業のねらい
商工会が有する商品情報を県連合会に蓄積し、商品の完成度や成熟度に応じた支援策の提案を行うとともに、テーマの設定や時期により域外に売り出す商品を選定し、「チーム秋田」として集中的な支援を実施する。

3. これまでの評価結果
過年度 H29 - H30 B R1 A R2
年度ごとにテーマを設定し、選別した商品群から県連合会内部審査会を開催して重点的に支援する商品を選定した上で、各種商談会や物産展への出展について事前準備からアフターフォローまで一貫した支援を実施することで確実に儲かる企業を輩出できている。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応
全国物産展や大型商談会等への出展効果拡大を図るため、伴走型小規模事業者支援推進事業補助金を活用して、販路拡大に取り組む商工会職員をメンバーとする販路拡大研究会(仮称)を立ち上げる。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
15	事業者ニーズに応じた支援策の展開	コロナ禍により、オンラインでの販路拡大支援にシフトし、商談実績につなげている。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード 15						取組コード 15						取組コード					
指標名 販路拡大支援件数						指標名 新規取引先獲得件数						指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	40件	40件	50件	50件	50件	目標	4件	6件	10件	10件	15件	目標					
実績	41件	45件	53件	62件		実績	5件	6件	10件	14件		実績					
達成率	103%	113%	106%	124%		達成率	125%	100%	100%	140%		達成率					
達成度	a	a	a	a		達成度	a	a	a	a		達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**
(評価の理由)
人口減少や少子高齢化により地域マーケットの縮小が続いている秋田県においては、新たな市場獲得が不可欠であり、地域外への販路拡大の必要性は高い。特に、新型コロナウイルスの収束が見えない状況下にあっても、インターネットを活用した新たな販売方法の確立が急務になるなど、より一層重要性が高まる。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**
(事業の目標は達成されているかどうか)
テーマ設定による重点支援先を選定し、事前準備からアフターフォローまでの一貫した集中支援を62件実施した結果、新規取引先14件獲得といった成果を上げたことから、事業の有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) **a**
(コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由)
重点支援先を選定し、計画的な支援を行ったほか、県補助金を有効に活用した支援を展開していることから、資金面やスケジュールに係る時間的コスト削減につながった。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **A**
新型コロナウイルスの収束が見えない状況下にあっても、重点支援先を選定しオンライン商談会への出展や小規模事業者持続化補助金の活用などを提案することで、事業者ニーズに合った販路拡大支援を展開した。

3. 課題
コロナ禍にあってもリアル商談会・物産展といった取組が実施できるよう事業を企画立案するなど、新たな生活様式に対応した販路拡大への支援手法が必要となっている。

4. 今後の対応方針(改善点)
伴走型補助金を活用して販路拡大に取り組む商工会に対し、共同出展など相乗効果を発揮できる取組をコーディネートするとともに、全国連等が実施するオンライン商談会などの情報を収集し、効果的に商工会へ提案する。